

16. 自己資本の状況

○ 自己資本比率の状況

当組合では、多様化するリスクに対応するとともに組合員や利用者のニーズに応えるため、財務基盤の強化を経営の最重要課題として取り組んでいます。

29年度は第8次中期3カ年経営計画に基づき、JA自己改革の実践、単年度計画の達成、不良債権の発生防止、業務の効率化並びに内部留保等に向け事業を展開しました。

特に中期計画の全体戦略である「食彩館プレミアムポイントカード」の充実を始め、組合員や地域の皆様に様々な企画やイベントを交えたJAの総合事業を展開した結果、新たな減損損失処理の発生もありましたが、当期剰余金は294,470千円の黒字計上となり、平成30年2月28日現在における自己資本比率は、11.30%で終了することができました。

また、財務基盤強化のため、自己資本増強に取り組んでおり、平成29年度末の自己資本額は、対前年比220百万円増の37億円余となっています。